

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【I、V】
2 実施対象者	札幌市立厚別通小学校 3年生 72名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 総合・道徳 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	・スポーツ選手の生き方やオリンピックの歴史にふれることで、夢をもち、粘り強くやり遂げようとする態度を育てる。 ・パソコンを使って、オリンピックの競技や参加選手について調べる。
5 取組内容	・札幌オリンピックミュージアム見学・競技の擬似体験 ・大倉山ジャンプ場見学 ・インターネットを使った調べ学習 ○指導計画【12時間扱い】 「総合的な学習の時間」1時間 オリエンテーション ※オリンピックやパラリンピックの日程を紹介する 「道徳」1時間 ※読み物資料「ささえ合い助け合い『合い』の力で心を心をつなげよう」 「道徳」1時間 ※読み物資料「きっとできる（高橋尚子選手）」 「総合的な学習の時間」「国語」各1時間 ※インターネットを使って、オリンピックの歴史や出場選手について調べる 「総合的な学習の時間・道徳」4時間・1時間 ※札幌オリンピックミュージアム見学 「道徳」1時間 ※読み物資料「夢は見るモノではなく、かなえるもの（澤穂希選手）」 「総合的な学習の時間」1時間

	※学習の振り返り
6 主な成果	平昌オリンピックの開催時期と重なり、北海道出身の選手らの活躍や競技の様子を身近に感じることができた。 特に、札幌オリンピックミュージアムでは、国際大会に出場した経験があるオリンピックの柏木久美子さんから、「夢をもつこと・一生懸命がんばること・そして、感謝すること」の大切さを、直接教えていただいた。また、本物のジャンプチームが練習する様子を間近に見ることができ、普段の学習では味わえない貴重な経験をする場となった。 <u>「子どもたちの振り返り」から</u> ・オリンピックの選手は、けがをしたり、苦勞をしたりして、やっと出場していることがわかりました。1日何時間も練習して、あきらめないという心は、わたしはまねできないような心だと思いました。 ・テレビなどで、スキージャンプを見ていたら、かんたんそうだなと思っていました。だけど、オリンピックミュージアムで本当にやっているのを見てみたら、すごくむずかしそうで、やっている人がすごいなってわかりました。 ・つぎのオリンピックも、日本の金メダルが多くとれるようにがんばってほしいです。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	取組の内容に記載した通り。
8 主な課題等	・昼食をとる場所や荷物置き場などが確保されているとよい。
9 来年度以降の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。